

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立立川高等学校定時制

教科・科目	地理歴史科・倫理	2 単位	対象学年・組	3学年選択
教科書	高等学校 改訂版 新倫理(清水書院)	教科担任	木谷 隆太郎	

1. 目 標 人間としてのあり方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的な意欲を高め、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
2. 学習の到達目標 他者存在への敬意を前提とした、継続的で終わりのない自己の人格形成の必要性を、自分なりに受容することが理解できる。

### 3. 学習内容と学習上の留意点

	予定授業時数	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
1 学 期	24 時間	第1編 現代に生きる自己の課題 ・青年期の課題と自己形成	・難しい概念も丁寧に噛み砕いて説明する。 ・授業⇒復習のサイクルを大切にす。
		第2編 人間としての自覚と生き方 ・人生における哲学 ・人生における宗教 ・人生の智慧 ※期末考査	・ICT機器を駆使する。 ・課題ごとに、自分事として捉えられるように工夫する。 ・思考力・判断力・表現力を高める授業になるように工夫をする。 ・科目教科横断的の授業を常に意識する。
2 学 期	26 時間	第3編 現代社会と倫理 ・現代の倫理的課題 ・現代に生きる人間の倫理	・難しい概念も丁寧に噛み砕いて説明する。 ・授業⇒復習のサイクルを大切にす。
		第4編 国際社会に生きる日本人の自覚 ・日本の風土と伝統 ・外来文化の受容と日本人の自覚 ※期末考査	・ICT機器を駆使する。 ・課題ごとに、自分事として捉えられるように工夫する。 ・思考力・判断力・表現力を高める授業になるように工夫をする。 ・科目教科横断的の授業を常に意識する。
3 学 期	20 時間	第5編 現代の諸課題と倫理 ・生命の倫理 ・家族と地域社会の倫理	・難しい概念も丁寧に噛み砕いて説明する。 ・授業⇒復習のサイクルを大切にす。
		・開発と環境の倫理 ・情報社会とグローバル化社会における倫理 ・人類福祉と国際平和のための倫理 ※学年末考査	・ICT機器を駆使する。 ・課題ごとに、自分事として捉えられるように工夫する。 ・思考力・判断力・表現力を高める授業になるように工夫をする。 ・科目教科横断的の授業を常に意識する。

### 4. 学習者への注意

- ・年間を通し、生徒の興味・関心の実態に応じて、取り扱う単元の順序や内容を変更する場合があります。
- ・教科書、ノートを使用するので毎回用意すること。
- ・年間に4回ほどの定期考査とノート提出を行う。

### 5. 評価の観点・方法

- ・定期考査、授業への出席状況、ノート等の提出状況、学習意欲などを総合的に判断する。